

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2009.12.24

No.71

年の瀬を迎えて



いよいよ本年もあと1週間で終わろうとしています。皆さんにとってこの一年間はどんな年であったでしょうか。この時期に自分の一年間を振り返りまた新しい年に向かっての決意を新たにしたいものです。

昨年の9月15日アメリカのリーマン・ブラザーズ証券がサブプライムローン問題などの影響で経営破綻し、これを切っ掛けに世界中が金融不安に陥りました。特に今年2月頃が景気の底をつき、百年に一度の景気後退に陥っています。しかもまだそこから抜けきれず今だ先の見えぬ状況に置かれています。進路選択を前にし、特に就職希望者にとっては不安のつきない1年であったと思います。現在もまだ就職先が決まらない生徒も何人かいます。私が記憶する中でもこれほど厳しいことは初めてです。

たまたまこうした年に巡り会ってしまった皆さんには本当に気の毒に思います。しかし厳しい状況を通り抜けた者の方が、かえって後々伸びていくということはあります。苦勞して手に入れたものはその有り難みが分かり大事にしますが、手軽に手にしたものはすぐ粗末にするということはありがちです。

就職希望者で幸いにして合格できた会社は簡単に辞めないで欲しいものです。今年のように求人数も少なく同期生が少ない中で頑張ったものは将来的には会社の中で重要なポストに就ける可能性もあるでしょう。また大きい会社に入ったものは、比較的安定し傍目にはよいかもしれませんが、将来的には多人数の中で頭角を表すのは大変です。逆に、少人数の会社へ入った人は将来的には役職等になっていく可能性はあります。

進学者は、今回は厳しい就職戦線を回避できましたが、2~4年後にはまた就職のことを考えなくてはなりません。まだ数年は就職の厳しい状況が続くそうです。特に専門学校へ進学する生徒は、2年後というより進学後すぐにも将来の進路のことを心配しなくてはならないことを覚悟してください。

進路が決まった人はそのことに安心しきっているだけではなく、むしろこれから自分の将来を見越し、どう生きていくかをしっかり考えていって欲しいものです。年末年始にこれからの自分の生き方を少し考えてみましょう。そして卒業するまでの3ヶ月間を無駄に過ごすことなく、新しい出発に備えてもう一度しっかり充電をして欲しいものです。何をどう充電するかは各自で考えなくてはなりません。

指定校推薦入試 期 期募集の案内

<以下小林哲先生>

次の大学から指定校追加募集(期と期)を頂きました。

愛知文教大学です。

人文学部人文学科 2名 評定平均値 国語と英語 3.0以上 又は内申書平均3.5以上

区分	出願期間	試験日	合格発表	試験場
期	1月12日~2月2日	2月6日	2月12日	本学
期	3月1日~3月15日	3月18日	3月23日	本学



進学について雑感

指定校の2期3期の追加募集の通知が頻りに届きます。大変ありがたい事なのですが、それだけ大学の定員が埋まっていない事にもなります。それだけ進学し易くなった事になります。進学希望者にとっては良報となっています。自分に合った学校を見極めて進学してみてください。基本は、知名度より自分にあっているかどうかにかんじます。就職を考えたなら文化系より理科系が有利です。ハローワークの某職員の言葉。「一流大学の文化系卒より三流大学の理科系を企業は欲しがっている」。参考にして下さい。